

平成 29 年度事業報告

1. 事業期間

平成 29 年 4 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日

2. 事業の成果

特定非営利活動法人安全安心科学アカデミー（以下、NPO という）設立の目的である、住民と共に放射線・原子力の問題についてコミュニケーションを図り、エネルギー問題、地球温暖化問題、環境問題、放射線、原子力等に関する諸問題を住民主導で対処できるようにするための事業活動を行った。その概要を示す。

1. 特定非営利活動に係る事業

(1) 社会教育の推進を図る活動

項 目		実 績	評価
1) ホームページによる広報活動		例年通り実施 概要は別紙報告	例年通り
2) 会員・一般企業に資料配布 NPO の趣旨に関連する資料の配布		平成 30 年版の若狭カレンダー (関西原子力懇談会提供) (H29 年 12 月)	例年通り
3) 講演会	NPO に関連した各種講演会・勉強会の開催	1. 講演会 H29. 5. 26 (金) ○ 『地層処分の技術的問題点』 ○ 『地層処分の社会的問題点』 坪谷 隆夫 (日本原子力研究開発機構 元理事・環境技術開発推進本部長 参加者：40 名 2. 講演会 H30. 3. 20 (火) ○ 『脳研究の成果が生み出す新しい AI 技術とビジネスチャンス』…… 西田知史 国立研究開発法人情報通信研究機構 ○ 『脳のふるまいに倣った人工知能をつくる』 田谷紀彦 大阪大学産学連携担当教授 参加者：24 名	例年通り
4) 保物セミナー 2017 の共催	保物セミナー2017 NPO の共催事業として推進する。	保物セミナー2017 時期：H29. 11. 1(水曜) 13:00~18:00 ボーリングディスカッション 18:30~20:00 H29. 11. 2(木曜) 9:30~16:30 場所：大阪科学技術センター 共催：電子科学研究所、大阪科学技術センター 日本保健物理学会、安全安心科学アカデミー 参加者：150 名 詳細は NPO の HP 参照	例年通り
5) e ラーニング通信教育による	X線作業主任者受験準備講習	X線作業主任者受験準備講習 参加者：2 名	例年通り

項目	計画	実績	評価
6)原子力・放射線管理者の教育	放射線管理員を養成する 為の教育・実習を実施する	<ul style="list-style-type: none"> ○放射線安全管理士養成講座を3回開催 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 大阪開催 平成29年7月10,11日 23名参加 ・第2回 東京開催 平成29年8月9,10日 18名参加 ・第3回 大阪開催 平成29年12月25,26日 21名参加 計 62名 ○放射線管理員養成B講座を3回開催 <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 大阪開催 平成29年7月6,7日 17名参加 ・第2回 京葉開催 平成29年8月21,22日 20名参加 ・第3回 京葉開催 平成29年12月21,22日 18名参加 計 55名 <p>○放管養成A講座は申し込みなし</p>	例年通り

平成29年度の安全安心科学アカデミーホームページによる広報活動

<今年度のホームページへのアクセス数>

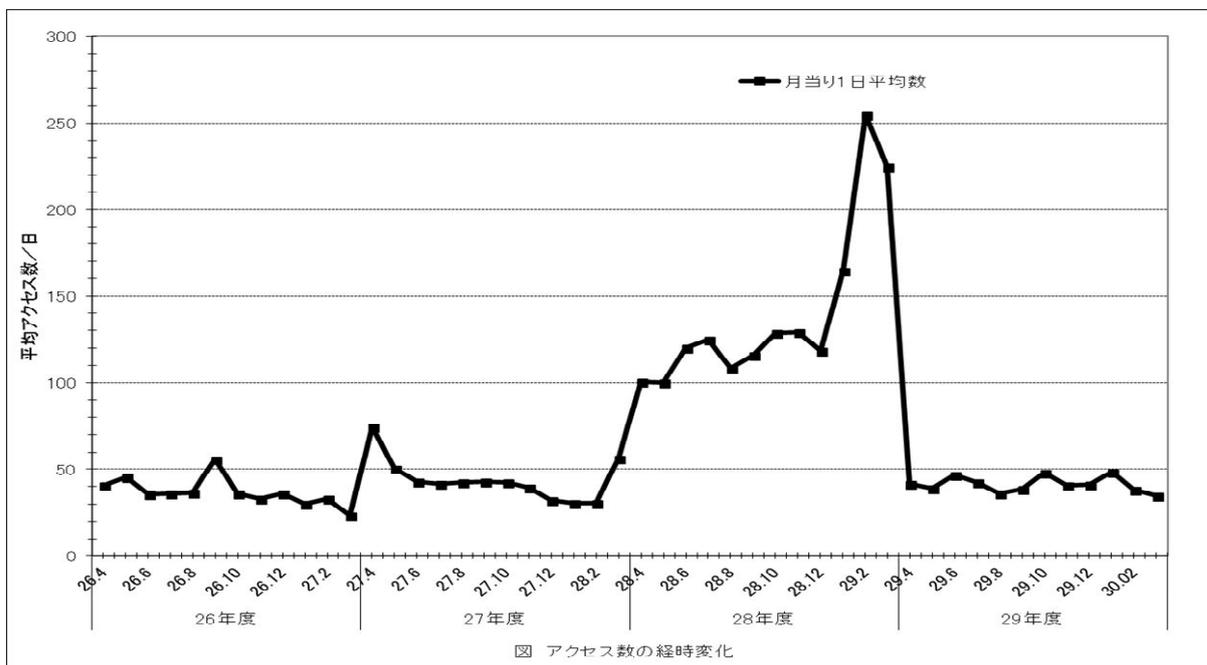


図 ホームページ閲覧数の変化

平成28年度は櫻井よしこ氏と奈良林氏の対談記事等でホームページのアクセス数が多かったが、平成29年度は図に示したようにアクセス数が例年通りに復帰した。

ホームページの年度閲覧頁ベスト20

表にホームページの年度閲覧頁ベスト20を示した。このホームページ閲覧頁数の年間ランキングから、一般の方の興味が読み取れる。PDF頁の延頁数は51,915、HTML頁の延頁数は101,633であった。ベスト20の頁は、ホームページ掲載後10年近く経過しているものが多い。

これは、文献として他のホームページから評価を受けてリンク・聴取されているものと考えられる。そのため、例年同じ傾向である。

ベスト1(第1位)の全体に対する割合は、24.7%(37,951/153,548)が多い。

ベスト1の頁「放射線の健康レベルと危険度レベル」は放射線の影響を急性影響と慢性影響を表で比較した他にないユニークな視点が評価されていると思われる。

ベスト20の全体に対する割合は、41.5%(63,756/153,548)で比較的多い。

表 年度閲覧頁ベスト20

ランキング	年度閲覧数合計	文 書 名	所 属	作成者
1	37,951	放射線の健康レベルと危険レベル(図示)2011	安全安心科学アカデミー	事務局
2	3,349	日本人のがんと世界の人のがん 2006	近畿大学原子力研究所	武部 啓
3	2,935	PET装置とサイクロトロン 2004	京都医療技術短期大学	向井孝夫
4	2,077	第2報デジタル測定器の応答性 ESI-NEWS 2011	非破壊検査(株)	藪下延樹
5	1,824	放射線源の安全確保とセキュリティ 保物セミナー2007	社団法人日本アイソトープ協会	木村俊夫
6	1,434	デンタルX線最影における被曝線量減少策としての防護E ⁺ 着用に関する見解 2003	北海道医療大学歯学部 附属病院放射線部	輪嶋隆博
7	1,412	医療被ばくの正当化と最適化 保物セミナー2009	大分県立看護科学大学	伴 信彦
8	1,330	最近の放射線治療の動向：定位放射線治療と寡分割照射 ESI-NEWS 2010	弘前大学	細川洋一郎
9	1,134	自然放射性物質による被ばく(モナザイトに着目して)	東京大学原子力研究総合センター	杉浦紳之
10	1,083	女性の職業被ばくに対する線量限度について 1997	安全安心科学アカデミー	事務局
11	1,073	放射線治療による被曝への不安に向けて2010	藤田保健衛生大学	下 道國
12	992	保物セミナー開催情報	安全安心科学アカデミー	事務局
13	989	小児白血病 保物セミナー2009	大阪市立総合医療センター	原 純一
14	975	ICRP2007年勧告について ESI-NEWS 2008	放射線医学総合研究所	米原英典
15	926	第1報 デジタル測定値 パラツキの正体 ESI-NEWS 2011	非破壊検査(株)	藪下延樹
16	889	放射性セシウムの特性と除染に向けての企業や団体の取組み 保物セミナー2011	京都大学	藤川陽子
17	855	保物セミナー2017プログラム(R0)	安全安心科学アカデミー	事務局
18	855	放射線被ばくと甲状腺がんについて 保物セミナー2013	放射線影響協会	長瀧重信
19	839	第5報 電離箱サーベイメータ測定値のパラツキと応答性 ESI-NEWS 2011	非破壊検査(株)	藪下延樹
20	834	高周波電磁界の生体影響について	東京都立大学大学院	多気昌生

<掲載項目>

- 放射線被ばくの健康影響 ○放射線防護の議論 ○リスクコミュニケーション ○医療放射線
- 放射線照射利用 ○ICRP 放射線規制法令 ○トリチウム ○地球環境 ○放射線教育 ○廃棄物
- 原子力災害への対応 ○放射線管理 ○放射線の単位用語・測定 ○エネルギー問題
- 環境放射線 ○原子力と環境問題 ○おすすめの本 ○トピックス ○スクラップ記事
- アスベスト問題 ○放射線・原発報道の解説&論評 ○放射線事故 ○電磁界(電磁波問題)
- 安全安心科学アカデミーの案内

○「放射線・エネルギー・環境・サイエンスに関する情報と議論（他サイト情報リンク）」

<執筆者> 29年度15名（累計延べ402名）

<論文数> 29年度15編（抄録・ppt含む）（累計442編）

<広報・案内>

- ・保物セミナー、勉強会の案内、講習会、お知らせなど 4件
- ・外部サイトリンク情報 4件

「エネルギーは現在（いま）」(SakuraSoTV) はyoutube インターネット番組で、現在連載配信中のものをリンク表示

<NPO事業の広報>

- ・eラーニングによるエックス線作業主任者 受験準備講習をホームページでの案内
- ・「放射線安全管理士」認証の案内

(2) 地域安全活動

項目	計画	実績	評価
1) メールマガジンによる広報	NPO会員及び関係者、団体に対して随時Eメールによる情報発信を行う。	5/8 平成29年度第1回講演会の案内 9/4 「保物セミナー2017」の案内 2/19 平成29年度第2回講演会案内	例年通り
2) 委託研究の受託	委託研究の受託	<ul style="list-style-type: none"> ・日本原子力文化財団 支援事業 出前授業 講師：京都大学 幸浩子氏 授業名【エネルギーや放射線を知って、地層処分を考えよう】 1. H29. 11. 22 名古屋市立大野木小学校 6年生 93名参加 2. H29. 12. 14 明石市立朝霧中学校 3年生 175名参加 3. H30. 1. 13 喜界中学校 3年生 58名参加 4. H30. 1. 15 喜界小学校 4年生 58名参加 5. H30. 1. 19 いわき市立草野中学校 3年生 80名参加 6. H30. 1. 22~25 いわき市立草野小学校 1~6年生 180名参加 7. H30. 1. 26~29 いわき市立高坂小学校 6年生 70名参加 8. H30. 1. 31~2. 1 いわき市立矢祭小学校 1~4年生 196名参加 計 910名 	採択

(3) 国際協力の活動

項目	実績	評価
1) 台湾・中国との交流活動	台湾の大学へ資料提供及び朱先生と情報交換	例年通り

(4) 他団体と運営又は活動に関する連絡、助言又は援助活動

項目	実績	評価
1) 他団体と協賛・協力して市民活動を行う。 2) NPO 諸団体と連絡・調整を行う。	保物セミナー2017 の開催及び同セミナーの 連絡・調整	例年 通り

4. 社員総会等の開催状況

項目	計画	実績	評価
理事会／総会	平成 29 年度 第 1 回理事会	H29. 5. 26 (金) 出席者 8 名 下記 3 件が提案され原案通り決議された。 1. 平成 28 年度事業報告と活動決算書 2. 平成 29 年度及び平成 30 年度事業計画と 活動予算書 3. 定款の一部変更	例年 通り
	平成 29 年度通常総会	H29. 5. 26 (金) 出席者 23 名、委任状 28 名、 計 51 名 上記第 1 回理事会決議事項 同上 1~3 について討 議、原案通り決議された。	例年 通り
	平成 29 年度 第 2 回理事会	H30. 3. 20 (火) 出席者 8 名 下記の項目についての討議 1. 平成 30 年 4~5 月の収支 (案) は原案通り決議 された。 2. 平成 29 年度事業報告等	例年 通り

5. その他の事業

なし

以上

法人名： 特定非営利活動法人 安全安心科学アカデミー

貸借対照表

平成30年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	金 額	差 異
	平成29年度	(平成28年度実績)	
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金	22,405	0	22,405
普通預金(りそな)	6,635,144	7,022,704	△ 387,560
普通預金(UFJ)	243,996	288,939	△ 44,943
未収金	18,000	27,000	△ 9,000
仮払金	3,594	3,372	222
流動資産合計	6,923,139	7,342,015	△ 418,876
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
建物附属設備	282,707	339,383	△ 56,676
(2)投資その他の資産			
保証金	500,000	500,000	0
有形固定資産計		839,383	△ 839,383
固定資産合計	782,707	839,383	△ 56,676
資産合計	7,705,846	8,181,398	△ 475,552
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	6,000	4,138	1,862
預り金	2,160	24,558	△ 22,398
流動負債合計	8,160	28,696	△ 20,536
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	8,160	28,696	△ 20,536
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	8,152,702	5,196,545	2,956,157
当期正味財産増減額	△ 455,016	2,956,157	△ 3,411,173
正味財産合計	7,697,686	8,152,702	△ 455,016
負債及び正味財産合計	7,705,846	8,181,398	△ 475,552